

平成 2 2 年度村政懇談会
【平成 2 1 年度 地域からの質問に対する進捗状況】

担当： 建設水道部

【地区自治会名】
石神地区自治会
【質問事項（題目）】
村道の土留め対策について
【質問要旨（内容）】
畑より低い道路は、畑の土が側溝に流れ常時、土が被り水が滞留し本来の排水溝の役割を果たしていない。 民家周辺では水が腐敗し悪臭を放っているところもあり、環境面からも問題である。特に、春先は一斉に畑を掘り起こすのでいたるところでこのような現象が見受けられる。 村道の整備に際し、畑の土が流れないように土留め対策を盛り込んだ予算化が図れないか。また、これらの対策をどのように考えているかお伺いしたい。
【回答】
村道の拡幅整備は、宅地や畑に雨水が入らないよう道路を低くし、両側に側溝を設置することが通常の計画でございます。地形によっては排水勾配があまりなく、土が部分的に入っただけで水が滞留するところもあります。村では、道路上の土砂、側溝の詰まりなど安全及び環境上問題がある箇所については対処しておりますが、全村的には対応しきれません。耕起した土が道路にこぼれた場合は、各個人で清掃していただくようお願いいたします。 民家周辺の側溝清掃は、年次計画をたてて村内全域を対象に実施しておりますが、予算の都合上毎年清掃することは難しい状況であります。水が腐敗し悪臭を放っているところは、村に側溝の蓋上げ道具がありますので、地域の皆様と協働で側溝の清掃ができればと考えております。 新たな土留め対策は難しい状況です。各個人が意識を持って清掃していただくよう、今年度東海広報にも掲載し、啓蒙活動を行ってまいりたいと考えておりますので、ご協力ご理解のほどよろしくお願いいたします。

平成 2 2 年度村政懇談会
【平成 2 1 年度 地域からの質問に対する進捗状況】

担当： 総務部

【地区自治会名】	石神地区自治会
【質問事項（題目）】	今後の地域活動について
【質問要旨（内容）】	住民が一体となった地域ボランティア活動が展開されている。その成果は十分とは言えないが、着実に定着しつつある。班（常会）を単位とした活動はもちろんのことであるが、全国的・地域的な特徴として、仕事をリタイアした地域住民が班（常会）を超えて、時間及び体力の面で力を発揮していることは言うまでもない。従って、村関係課の事業の取り組みを地区の中に積極的に取り入れながら、地域活動を側面から支える事業や出前講座等有効な支援策を提供していただきたい。 例えば ・ 地域特産物の育成とファーマーズマーケットへの流通システムの形成 ・ 地域ボランティアを高めるための講演や講義等 ・ 地域の超高齢化社会への対応策としての事業の展開
【回答】	皆様には日頃から地域活動へのご協力をいただき心から感謝申し上げます。 昨年度回答させていただきましたが、「住民と村との協働によるまちづくり」が、これまで以上に重要になってきております。また、協働によるまちづくりにあたっては、相互の役割分担等をあらかじめ明確にし、相互理解を深め信頼関係を構築したうえで実施していかなければならないと考えております。 村では現在、自治基本条例及び第 5 次総合計画の策定作業が進められており、その中でも課題となっております。今後なるべく早い時期に「協働のあり方」について明確にする協働の指針を作成したいと考えております。 なお、自治会連合会と村では、7 月 2 4 日に相模女子大学の松下啓一先生をお招きして、「住民・議会・行政の協働の役割を考える」と題したまちづくりフォーラム講演会も開催します。今後もこのような講演会等を実施し、協働のあり方を考えていきたいと思います。

平成 2 2 年度村政懇談会
【地域からの事前質問に対する回答】

担当：建設水道部

【地区自治会名】
石神地区自治会
【質問事項（題目）】
6号国道沿線の下水道整備計画について
【質問要旨（内容）】
外宿地区の下水道整備事業は、平成 2 1 年度の見直し拡大により、村道側は着々と進められているが、6号国道沿線に関しての整備計画は、どのようなになっているのか伺いたい。
【回答】
東海村の下水道は、事業認可区域 A = 1,491.3ha のうち 1,128.5ha が整備されており、下水道普及率は、平成 21 年度末で約 81% になっております。石神外宿地区の下水道事業は、年次計画に基づき平成 21 年度から下流側（久慈川）より工事着手をしております。国道 6 号線が拡幅された沿線につきましては、本管を敷設する占用位置など、現在、国交省と協議調整しているところです。工事予定は 23 年度頃から予定しております。また、原発線交差点からなか食堂付近までの拡幅されていない区間につきましては、本管敷設の際の占用位置につきまして現在、国交省と協議調整しているところです。 石神外宿地域の今年度工事は、昨年度施工完了した上流部（南側）約 L=1,200m を予定しております。

平成 22 年度村政懇談会
【地域からの事前質問に対する回答】

担当： 建設水道部

【地区自治会名】	石神地区自治会
【質問事項（題目）】	安全な通学道路の確保
【質問要旨（内容）】	外宿二区自治集会所と黒澤商店の村道は、狭く見通しが悪い中、坏集落と竹瓦区の児童が登下校の通学路として利用している。 子どもたちは、歩道がないため危険をおかして側溝のふたの上を歩いての登下校である。坏集落から集会所までは、縁石のある歩道が作られたがその後の計画を伺いたい。 暫定案 ○ 集会所から東電の電柱まで用壁を立ち上げると、約 2 メートルの通路ができるのではないか。 ○ 東電の電柱のところに、信号と車の確認できる安全地帯を設ける。
【回答】	ご質問の村道 0110 号線は、坏土地改良区から外宿二区集会所まで、幅員 1.0m から 2.5m で歩道が整備済みであります。外宿二区集会所から黒澤商店脇交差点までの約 75m については、未整備となっております。 外宿集会所から予告信号機がある約 50m の区間は、道路幅員 5.5m で整備されている他、村の余剰地が約 1.0m の幅で残っておりますこの部分を有効に活用し整備について検討を進めてまいります。 また、予告信号機から黒澤商店までの約 25m の区間に歩道を設置する場合は、新たに用地の確保が必要となります。児童の安全を確保するためにも歩道の整備が急務と捉えておりますので、整備推進にあたっては、地域の皆様のご協力をお願い申し上げます。

平成22年度村政懇談会

【地域からの事前質問に対する回答】

担当：教育委員会、経済環境部

【地区自治会名】 石神地区自治会
【質問事項（題目）】 （継続）久慈川周辺の整備計画と洪水対策
【質問要旨（内容）】 久慈川周辺の整備計画については平成15年の村政懇談会での質問に対する役場の考え方が示されたが、必ずしも終了していない。今後の考え方、また年次計画を知りたい。 また、最近の異常気象も合間って、竹瓦地区の雨水の流入量が増大している。これを排出する前川樋管機器の状況は万全か。ゲートの不具合があると聞くが大丈夫か。今後の保全の考え方をお聞きしたい。
【回答】 ■ 教育委員会 久慈川河川敷の整備につきましては、平成11年6月に「久慈川河川敷有効利用基本構想」が策定され、平成17年度には、国土交通省の河川事業と一体となった「東海水辺プラザ整備事業」の採択を受けるなど環境整備が進められたところです。 これまでの整備内容ですが ① 河川敷により近づきやすくするために、傾斜の緩い階段の整備 ② 小さな子どもや車椅子の方でも河川敷に近づきやすいように、堤防を斜めに上り下りできる勾配の緩やかな坂道（スロープ）の整備 ③ 河川敷の自然とふれ合いやすくなるように散策路や水路に木橋の整備 ④ 多くの人に久慈川の広大な河川敷を使ってもらえるようにサッカー場やソフトボール場の整備 ⑤ 久慈川を訪れた方に快適に過ごしてもらうため福祉トイレ（亀下）の整備 ⑥ 遠方から久慈川に訪れやすくするために駐車場を整備しました。 今後の整備についての年次計画ですが、現在、内宿グランド（サッカー場）に階段護岸の整備が検討されております。国も財政難の状況で各方面で事業の見直しを検討しているようですので、国と協議を進めながら村民の健康増進や自然と触れ合う場としての河川敷有効利用に努めてまいります。 ■ 経済環境部 竹瓦地区の洪水対策についてのご質問でございますが、村が管理する前川樋管・竹瓦排水機場につきましては、洪水時等などによる農地及び樋管への河川水の逆流防止に備え、速やかに樋管等の操作ができるよう必要な機械器具等の点検整備を実施しながら万全の対策を図っております。 平常時は、機場委員会と委託業務契約を取り交わすなど点検管理をしており、洪水時は樋管の操作をするため機場内に待機をして、大雨時や災害等に対応しております。 ゲートに不具合があるのではとのご質問でございますが、年1回業務委託契約をして、ゲートを含む機械器具等の保守点検を実施し異常が無いことを確認しております。 最後に、今後の保全の考え方ですが、雨量調整を含め今後も機械器具等の保守点検を実施しながら、機場管理委員会及び国交省等関係機関と連携をとりながら対応してまいりたいと思いますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。